

## 平成 29 年度第 1 回伊賀市健康づくり推進協議会 議事録

日 時：平成 30 年 10 月 18 日（木）午後 2 時～午後 3 時 30 分

場 所：ハイトピア 4 階 ミーティングルーム

出席委員：9 名 竹澤委員、松寄委員、土屋委員、上山委員、奥田委員、今中委員、福平委員、富山委員、富岡委員

欠席委員：6 名 中川委員、田中委員、西田委員、佐治委員、川本委員、林委員

事務局：健康推進課長・主幹・主査

### 協議内容

#### 1. あいさつ

竹澤会長 あいさつ

#### 2. 協議事項

##### (1)伊賀市自殺対策行動計画（案）について

事務局 資料 1 説明。

委 員 進捗管理に目標値が書かれておりますが、これが多いのか少ないのか、現状値を書けるものは提示することはできないか。書いてあれば、わかりよいのではないか。無理ならいいのですが、そう感じました。

事務局 基準となる数値ですね。

委 員 現状がどうかというのが、比較できるものがあれば。

委 員 実際、自殺を考えているような人は、出てこないですが、相談もしないで一人で悩んでいる人が多い。民生委員の立場から。田舎は、民生委員だけでなく近所の人が、一人暮らしの人も見ているが、町の中ではどうか。その辺の、掘り起こしとか、なかなか難しいですが。

事務局 おっしゃるとおりで、難しいですが、行政で一人ひとりに聞き取りをしてというのはできません。ですので、例えばカテゴリー 2 のゲートキーパーということで、身近な方で、周りの方で最近おかしいなっていうのを気づけるといのがゲートキーパーで、行政ができるのは、そういう方を増やしていく。気づいていただけることで、専門機関へつないでいただく。あと、各課相談業務をしておりますが、窓口へ来た人を、自課業務だけでなく、気づいて生活支援課へつなげられる。職員の意識も変えていく。拾えるところで拾いたい。

委 員 また、個人情報保護も壁になっている。名前もいえないし、壁になる。

事務局 命にかかわることなので、個人情報よりも、通報していただいてもかまわないと聞いています。ご家族からご相談いただくほうがいいですが。近所の方から

もしていただきたい。そういうことを、市民の皆様にお伝えして、見つけていただいたり、相談につなげていきたい。そういう意識を皆に持っていただくという計画です。

委員 6Pの無職独居男性の数字が高い。相談するところがない。こういう方に一般の方が接触できるか、難しい。家にいるのかどうかも外からはわからない。本人も他人に会いたくなくなっているのか。こういう無職の独居の方が取っ掛かりがない。どうしたものか。

事務局 行政としても、学校や職場、高齢者の方は民生委員さんが気にかけていただけるが、この年代の無職の独居男性は、いまのところなかなか難しい。

委員 県はどう考えているのでしょうか。県の数値のほうが高い。県はどういう対策をしてるのか。

事務局 一度確認もしたい。

委員 ゲートキーパーにどんな方になってもらおうと考えていますか。

事務局 いろんな団体さん、民生委員さん、学校関係、市民の方であればどんな方にもなっていただきたい。自治協さんとかがまず。

委員 ゲートキーパーに資格はあるのですか。

事務局 資格はないですが、ご自分、家族のための知識を持ってもらう。自殺につながるような問題に気づいてもらう人。うつ病のことなどに、気づいて、専門機関につなげると自殺には至らないのではないかという考えです。

委員 田舎のほうは、いいですが、街中は難しい。

委員 認知症サポーターにはオレンジリングなど受講した証があるが、ゲートキーパーはどうですか。

事務局 すこし、なにか受講証などを考えていきたい。

委員 姿が見えなくても、相談するだけでも救うということもあるので「命のでんわ」みたいなのはできないのか。悩みを聞くだけでも。ボランティアで。できないものか。

事務局 「命のでんわ」もすでにあって、そういうところがあるという周知をもってしていきたいです。

委員 自治会にも入っていない、広報も受け取らないような人に周知していくのが難しいですね。

事務局 広報だけではなくて、ケーブルテレビやフェイスブックなどでもながしていますが。

委員 基本方針のところに、具体的な例えをいれていくとわかりやすいかと思いましたが、ビジョンのほうへつながりやすいかなあと。

事務局 組み立てとして、基本方針と具体例というふうになっておりますので、一度検討させていただきます。

- 委 員 グラフの横書き縦書きが見難いです。
- 事務局 そうしたかったのですが、技術的に少し難しかったので、製本の際に印刷業者と調整をします。
- 委 員 目標として産婦健診の受診率 95%となっていますが、受診されなかった方のケア、訪問してとかできれば
- 事務局 母子保健のほうはかならず家庭訪問をさせていただいておりますが、産婦健診は、それよりも早くする健診ですので、未受診の方に訪問、電話等させていただいております。
- 会 長 背景の検討とパターンの解析を進めていただいて、洗い出しに活用できるように進めていただきたい、また、ゲートキーパーの研修は各地域でやっていくのか、全市で集めてやるような方法なのかどうですか。
- 事務局 いろいろですが、全市で集めてというのは考えていません。保健師が地域へ講座をしていますのでそういうところでやっていきたい。
- 会 長 何回かにわけてするのですか、同じ講座をいろいろするのですか。
- 事務局 同じ講座をいろいろなところとする形です。あちらでもこちらでも聞いたという方がでも、そういう形でやっていきたい。
- 会 長 自殺者を減らすというのはなかなか難しいですから、ひとりでも減らせるような計画案になっていけばいいかなと思います。

### 3. その他

- 事務局 スケジュールの説明をさせていただきます。この会議のあと、議会へ報告させていただき、パブリックコメントとして市民の声を聞かせていただき、計画をまとめていきます。次回 31年1月31日木曜日、最終決定をさせていただきます。また、ご案内させていただきますのでご予約をお願いいたします。
- 事務局 前回の会議で、ご質問のありました、健康寿命のことで、平均余命のことをお尋ねいただきました。担当課から数値をいただきましたのでご報告させていただきます。平均余命から健康寿命を引いた期間が介護の必要な期間ということになります。ただし、この数値の出し方は伊賀市独自のものです。